

奥の細道むすびの地「大垣」 十六万市民投句

一般の部

奥の細道
むすびの地



令和五年六月度 入賞句一覧

投句数 五百六十六句

特選

長野 美代子 選

雨しとど葉裏に耐へし梅雨の蝶

揖斐郡揖斐川町 栗野 みのり

蝶といえば春の季題ですが、四季にわたって見かけます。夏は揚羽蝶など、大型の色鮮やかな蝶。陽光を追ってゆく姿は美しいです。梅雨の頃はどうか。いろいろな蝶も俳句になると楽しいものですね。

ゆりのきの花や捉へし雨意の風

兵庫県高砂市 川西 智子

皆さんは「ゆりのき」の花をご存じでしょうか。木の高さは二十メートルほどになり、チューリップのような六センチ程度の花を咲かせます。この近くでは、神戸のバラ園にあり、バラと同じ頃、高い木の上にオレンジ色の可愛い花を咲かせます。街路樹になつているところもあります。梅雨の頃に咲くので見つけてください。

恋を競ひ水は分け合ふ蛙かな

三重県鈴鹿市 よかわもりお

私は知りませんでした。『蝌蚪太りゆく水のあり』という俳句もありびっくりです。知らないことがいろいろありますね。勉強になりました。

秀逸

一枚の簾で部屋は別世界

不破郡垂井町 大羽 志風

朽ち果てし祠を隠す四葩かな

不破郡垂井町 川瀬 慶泉

天晴れやせいやせいやと振り神輿

養老郡養老町 佐藤 咲楽

雨上がりくぐつて見たいにじの下

不破郡垂井町 中嶋 結映

どの面でそのなき声か墓

大垣市 岡田 あや子

春日中荷より小さな母が来る

大垣市 林 みき子

燕来ておしやべりとなり一人者

大垣市 岡田 幸子

山の風つき抜けてゆく夏座敷

三重県三重郡 水野 悦子

緑陰や小鳥に会話あるごとく

神奈川県相模原市 中村 光枝

大鴉けんけんで入る麦畑

大垣市 遠藤 加容子

入選

天を突く日毎に色の変わる麦

大垣市

井沢 美志津

今年竹鉢より出づる不埒もの

大垣市

宇佐美 昭子

格子戸に木彫の屋号つばくらめ

不破郡垂井町

久保田 紘義

浮苗の水のいいなり右左

本巢市

小泉 裕子

自噴水影に浸りて涼しかな

本巢市

清水 康甫

クレヨンの足りぬ色ありチューリップ

本巢市

土川 みどり

苗代の水面に小さき空と雪

大垣市

多賀 英華

鯉幟竿の低きに尾をちぢめ

海津市

横井 美圭

御囃子の稽古大詰め松の花

大垣市

田口 貞善

造り滝音の高さにある勢ひ

愛知県岩倉市

村瀬 みさを

少年の勇氣のやうに虹立てり

愛知県名古屋市

舘野 茂子

曾孫来て穴一つ増え春障子

愛知県額田郡

平松 京師

夏休み忘れ去られるランドセル

不破郡垂井町

中嶋 結映

田植機の音響かせて田に一人

不破郡垂井町

大羽 志風

田から田へ低空飛行つばくらめ

滋賀県甲賀市

奥村 僚一

留守の夜を守りて開くや月見草

兵庫県加古川市

戸田 みつよ

夏立つや海に向き変ふ風見鶏

福岡県福岡市

大津 英世

九代目で閉づる和菓子屋ちまき買ふ

岐阜市

辻 雅宏

紅き薔薇孔雀の如く曇天に

愛知県岡崎市

渡邊 吟笑

過疎なれど清きおがわに舞ふ螢

安八郡神戸町

早津 郁男

選者吟

午後三時もう寝るところか未草

美代子

一般の部

